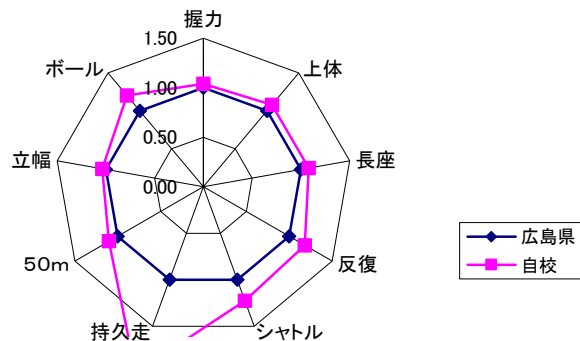


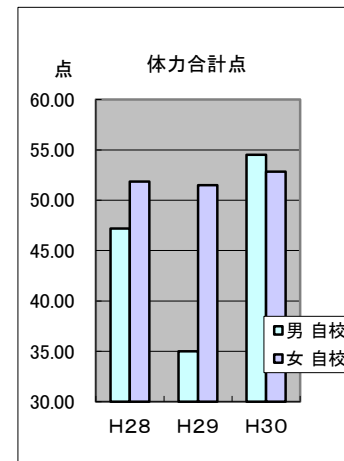
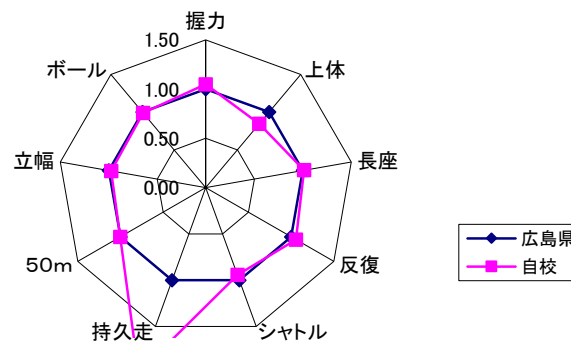
男子の体力合計点 学校 54.50点 県平均 44.79

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 52.85点 県平均 52.76

体力・運動能力調査比較(中2女子)



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・男子は全ての学年で県平均を上回っている。特に2年生は昨年度より0.8秒、3年生も0.2秒伸びを見せている。女子も2・3年生が約0.2秒上回っている。
 - ・積極的な部活動、各単元での活動が結果につながっている。また、意識を高めるため校内での啓発活動が少しずつ成果として現れている。
- ② 立ち幅跳び(中学校区の課題種目)
 - ・男子の2・3年生は、約8cm県平均を上回っている。1年生は10cm下回っている。女子は県平均を3年生のみ約4cm上回っているが、1・2年生は下回っている。特に1年生は10cm下回っている。
 - ・1年生が男女とも10cm課題があり、小学校での細かい日々の取り組みについて小中で検討し、入学時の体力差をうめていきたい。
- ③ 長座体前屈(自校の課題種目)
 - ・男女とも2・3年生は県平均を約2~3cm上回っているが、1年生は男女とも県平均を約2cm下回っている。
 - ・筋力がついてくると柔軟性の大きな伸びは見られなくなる。
 - ・家庭でも協力を促す取り組みを考えていく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

① 呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業で、補強運動を重点的に実施する。 ・年に3回測定を実施し、個々で目標設定させる。 ・20mや30m走を実施し、全校で委員会を中心としたK-1グランプリを開催する。
② 中学校区の課題種目 (立ち幅跳び)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中連携の中で、授業改善を行う。(陸上競技や球技をメインにする。) ・昨年度の数値と県平均や他中と比較をし、個々の目標を明確にする。 ・授業の中で、下半身を意識したトレーニングを取り入れる。
③ 自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・保健体育科の授業で、ストレッチの効果を理論的に指導する。また、長期休業中に自宅でもできる柔軟体操など課題を出し、保護者に協力を得る。 ・各部活動に応じたストレッチを表にし、部活動での取り組みを進める。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)